

# 公益社団法人 信和会 看護奨学生だより

2023年9月号

京都民医連あすかい病院 院長 中川裕美子



皆さんは医療従事者をめざすきっかけはありましたか？  
私の場合、初めて病気で入院したときに一番そばにいてくれる存在が看護師さんでした。これからどうなるのだろうと不安でいっぱい私を優しい笑顔で受け止めてくれました。

病気になると誰でも弱者になります。特にコロナウイルスの感染は高齢者をはじめとする弱者を社会的にも直撃しました。収入も途絶え、やっとの思いであすかい病院にたどり着いた方が「思いきって受診してよかった。一人で苦しんでいました」と言ってくださいました。当院はお金がなくて医療にかかれない方々を70年以上前から支援してきた病院です。この病院もそこで働くスタッフも地域の宝です。皆さんと一緒に働ける日を楽しみに待っています。

公益社団法人信和会 看護部長 鴨川聡子



この夏は、8月中頃から複数の台風が発生し、沖縄をはじめとした地域に大きな被害を与えました。また、南海トラフ地震の予測では、今後30年以内に70～80%でひっ迫した状態といわれています。今年は、関東大震災から100年目の節目にあたります。9月は、全国的にも防災月間として様々な防災の催しが開催されます。災害で医療機関や介護事業所が被害を受けると、多くの患者様や利用者様に大きな影響を及ぼし、その影響は地域全体へと拡大していきます。信和会では、事業継続計画（BCP）を整備し、災害時に地域の患者様・利用者様への影響が最小限になるように取り組んでいます。私たち個人もこの時期に防災を意識して災害への備えをしていきましょう。

京都民医連あすかい病院 リハビリテーション副部長 田伐康孝



国連の事務総長に「地球温暖化の時代は終わり、地球沸騰の時代が来た」と言わしめた今年の夏ですが、奨学生の皆さんは元気に過ごせましたでしょうか？あすかい病院リハ部ではNO残業デーをもうけCO2削減への取り組みを始めました。ささやかですが、問題意識を持ちなんでもいいから行動を起こすことが大切だ、と自分にも言い聞かせて取り組んでいます。学生生活は貴重な時間です。思い返してみてもやっておけばよかった、と思うことがたくさんあります。もちろん勉強は大切ですし、新型コロナウイルスも気が抜けませんが、奨学生の皆さんには色々なことに取り組んで欲しいです。皆さんと一緒に働ける日を楽しみにしています。

京都民医連あすかい病院 副看護部長 山際正樹



今年は本当に酷暑ですね。そのような中、皆さんは有意義な夏季休暇を過ごせただしょうか？すでに後期の授業やテスト、実習が始まっていると思いますが、休暇中に取り組んだ学習が活かされていれば良いですね。あすかい病院には今年度12名の新人看護師が入职しました。すでに夜勤業務も自立して頑張っています。ほんの半年前まで学生であったことを思うと頼もしい限りです。皆さんも今している学習が就職した時に必ず役に立つと考え、無理はしない範囲でがんばって下さい。また、冬につどいでお会いしましょう。

# 看護師処遇改善評価料の改善を求める国会行動

みなさん、昨年10月に新たに診療報酬制度に設置された『**看護師処遇改善評価料**』を知っていますか？

これは、COVID-19(新型コロナウイルス)感染症が流行する中で、ひたむきに頑張ってきた**看護職の処遇(給与)**を改善するために**新設された評価料**です。

看護師の給与体系は、他の産業と比べ決して良いとは言えない状況です。そのため、このような評価料が設置され、看護師の処遇が改善することは大変喜ばしいことです。

しかし、**今回の評価料には、少なからず問題**があります。それは**評価料の対象が、地域でコロナ医療など一定の役割を担う救急搬送件数年 200 台以上の医療機関のみと、狭く限定**されていることです。

果たしてコロナ禍の中で頑張ってきたのは、救急車を多く受け入れる病院だけなのでしょうか？もちろん、評価料の対象となる病院がコロナ患者を受け入れ頑張ってきたことは事実です。ただ、それ以外の施設等も頑張ってきました。中小規模病院は、コロナ対応病院に入院できなくなったコロナ以外の患者を受け入れました、訪問看護ステーションでは入院できない認知症のコロナ患者を毎日複数回訪問し対応しました、介護系施設では第7波以降入院させてもらえないコロナ患者を施設内で対応してきました、などなど、**全ての医療・介護施設の看護職は本当にとっても頑張ってきた**と言えます。



それにもかかわらず、**今回の評価料は、就業中の看護職員約 168 万人の内、35%程度(約 57 万人)しか対象にならない**のです。おかしなことですよ。たまたま働いていた場所によって評価が異なるなんて…。

そこで民医連は、今年2月末からナース・アクションに取り組み、「**全ての看護職員の処遇改善を求める請願**」署名を、他の団体とも協力して集め始めました。皆さんにも協力していただいたかもしれません。

そして、集まった **93,269 筆の署名**を持って、**5月30日に国会請願行動**が行われました。行動には全国から集まった民医連職員(主に看護師)約 80 名が参加しました。京都からも私を含め看護師 2 名・事務 2 名が参加しました。

私は、京都選出の4名の国会議員を訪問し、看護職員処遇改善評価料の問題点や現場の実情を伝えることができました。残念ながら、その後の国会での採択には至りませんでした。大きな反響を得たのも事実です。そのため、今後、**新たな署名用紙を作成し、取り組んでいく予定**です。

皆さんも、将来看護師として働く予定ですので、是非**新たな署名行動に協力・参加して、一緒に世の中の看護師に対する処遇改善につなげていきましょう！！**

行動の合間に、“参議院ラーメン”を食べました！  
普通の味でした！



## 戦争のない平和を願って ～原水禁世界大会の取り組み～



みなさん、民医連で働く職員の羅針盤と言える“**民医連綱領**”、もちろん知っていますよね！？  
その民医連綱領の中に

『**人類の生命と健康を破壊する一切の戦争政策に反対し、核兵器をなくし、平和と環境を守ります**』  
の一文があります。

その一文を実現するための行動の1つとして、民医連は毎年8月に開催される**原水爆禁止世界大会**に職員を派遣しています。信和会でも、毎年十名前後の職員が参加してきました。

今年も8名の職員と友の会代表者が参加してきました。例年は看護師の参加もありますが、今年は残念ながらありませんでした。そのため、あすかい病院の看護師長室では、**平和への願いを込めて千羽鶴**を折り、参加者にその願いを託しました。来年は、看護部からも参加をしてもらい、大いに学んできてもらう予定です。



## あすかい病院 キラっと看護の紹介

### 入院患者さんと五山の送り火

五山の送り火はお盆に迎えた精霊を送る伝統行事で、毎年お盆の終わりに行われ京都の夏の風物詩になっています。送り火は京都の5つの山で炊かれますが、あすかい病院からは五山の中でも有名な如意ヶ嶽（大文字山）の「大」や、万灯籠山（松ヶ崎西山）と大黒天山（東山）の「妙法」、西賀茂船山の「舟形」の送り火を観ることができます。この時期には、入院されている患者さんに少しでも楽しんでもらおうと毎年各病棟の職員が催しを企画しています。

#### Ep1.回復リハビリ病棟

送り火を屋上から見てもらえるよう企画し、ADLの高い患者さんを中心に職員が屋上に案内しました。絵の上手な患者さんにうちわや灯籠、ポスターなどを書いてもらったり、患者さんと一緒に楽しい企画を考えたりして、とても喜んでいただくことができました。



#### Ep2.緩和ケア病棟

デイルームから送り火を見てもらったとき、ずっと京都に住んでおられる患者さんが「家の方が綺麗に見えるけど…」と話されながらも、普段よりも楽しそうに眺められていました。

## あすかい病院 検査課の紹介



当課は地下1階にあります。患者さんから採取された血液や尿などを分析する検体検査室と患者さんに直接電極などを装着して検査する生理検査室に別れています。

検体検査はさらに尿検査、血液検査、生化学検査、輸血検査に別れており、検査結果を迅速に報告しています。

また生理検査では超音波検査、呼吸機能検査、心電図検査、脳波・神経検査などを行っています。直接患者さんの体に触れ検査を行うので不安にならない様に、丁寧な説明を心掛けています。どちらも診療に役立つ迅速かつ正確なデータ提供を目標に掲げ、業務しています。

個性豊かなスタッフが現在12名います。他職種との連携も重要ですので就職された際には一度訪ねてみてください。

## 大宅診療所の紹介

大宅診療所が発足し来年で40年を迎えます。山科区に民主的な診療所をという思いを持った地域の方々の運動で誕生し、18年前に今の建物になりました。

山科区全域と伏見区の醍醐北部地域を中心に医療、介護、福祉活動を行っています。

診療所では外来診療、訪問診療、保健予防活動を主軸に地域医療を行っています。

藤本所長、看護師は非常勤も合わせて9名、事務職員等で日々の診療などを行っています。



外来ではコロナの流行により様相は大きく変わり、今も一般の診療と風邪等の感染症疑いの患者さんは別の場所で診療しています。その中でも出来る限り地域の方の声に添える様努力しています。慢性疾患患者の中断予防、健診後の2次フォロー、診療所に自力で来ることが難しくなった方には通院支援を行い、医療が途切れない取り組みを行っています。健診は年間2500件を超えコロナを始めとした色々なワクチン接種など予防活動も行っています。訪問診療は80件以上の方を診ており地域の様々な事業所とも協力し在宅の生活をサポートしています。

常に笑顔で接しやすく、患者さんや地域の方が声を気軽に掛けやすい雰囲気づくりを心掛け、地域に信頼される診療所を日々目指して頑張っています。